

# 株式会社 起点 [福島県いわき市]

## 田畑・里山環境を活用した玉山地区地域振興プロジェクト

### 取組背景・地域課題

- 起点は、綿花の有機栽培・仕入、OEMや自社ブランドの衣料・雑貨製造、販売を手掛けている。**震災後に福島で広がってきた綿花栽培を産業へと育て、復興・地域創生に貢献**することを目指している。
- 2020年から**いわき市四倉町大野地区玉山で圃場を借り自社で綿花栽培**。市民向け綿花栽培体験や、地域外からの栽培体験受入も実施。地域と交流・連携する中で、原発事故後に特産の松茸が出荷停止となり、**農業の担い手不足、若年層の流出等が加速している現状**等を地元住民と共有。起点もこうした**課題解決への貢献**を目指している。

### 取組体制



- 大野住民、農業関係者
- 大野及び近隣の地域団体、事業者
- 地域外の協力団体 等

- (株) 日本総合研究所
- (株) 白草、(株) コル

### 取組の目的と内容

綿花栽培を行う玉山地区大野の一員として、綿花畑を活かした地域内外の交流の促進や、地域の抱える課題の解決に向けたビジョン・体制の明確化を図る

#### 1 玉山地区の綿花畑を活用した交流プログラムの実践と情報発信

- 地域の意見を取り入れながら、起点の管理する綿花畑を地域内外の交流拠点とするための構想を検討。
- 綿花の収穫時期（11月頃）にあわせ、地域内外の人々を招いた収穫体験・交流プログラムを企画・実施。さらに情報発信やその後の取組のあり方の整理も実施。

#### 2 大野地区の地域振興ビジョン策定に向けた調査・検討

- 地域の里山保全や農業の担い手確保、農地や遊休資産の利活用といった課題への対応に向けて、今後連携していくべき大野の関係者・地域資源の洗い出しを実施。
- 関係者へのヒアリング・意見のとりまとめを行い、今後の地域振興の方向性や取組のあり方、体制等を整理。

### 取組のポイント



収穫祭の様子

#### 綿花畑で交流プログラム（収穫祭）実施！

- 福島県いわき市にある起点の自社圃場で、綿花の収穫祭を実施。
- 収穫祭では、起点が栽培する綿花の収穫体験のほか、収穫した綿花を使った糸つむぎ体験、紙漉き体験、フラワーアレンジメント（スワッグづくり）体験などのコンテンツを参加者に体験してもらった。
- 収穫祭の結果を取りまとめ、次回以降の交流プログラム実施に活用することになった。

#### 「大野でつくりたい未来像」を作成！

- 圃場のある「大野地区」に根付いてこれからも継続的に事業を実施していくために、地域住民の声や起点の想いを取りまとめた「大野でつくりたい未来像」を作成。
- 取りまとめ資料等を活用しながらこれからも地域の方との対話を続け、適宜内容をアップデートしていく予定である。



取りまとめ資料

### 取組の主な成果

- 収穫祭はこれまでに起点が圃場で実施してきたイベントの中で最大規模の集客があった（参加者計50名強、ほか子どもも参加）。**これまで起点の圃場に足を運んだなかった参加者も複数いた**ことから、今後につながる関係性づくりのきっかけとすることができたと言える。
- 収穫祭や「大野でつくりたい未来像」の作成に向け、大野地区に関係する方（地域住民等）との対話を行うことができた。これから**地域により深く根付いて事業活動を行う上で、有効な関係性を築く機会**となった。



収穫祭で配布した手ぬぐいを手に記念撮影をする参加者

### 支援対象団体担当者からの声

地域産業を興していく過程には、組織及び事業として「地域に根差すための“何か”」を行っていく必要性を感じていましたが、なかなか上手く計画を立てられずにいました。そんな中、この不確かで曖昧な定義に対して具体的なアドバイスをいただき、プランニング・アクションまで実行できたことは、本事業の伴走支援による力が大きかったと感じています。また、それらのプログラムをイベントで終わらせず、地域振興ビジョンの策定に向けた検討材料とし、地域住民とのコミュニティを生みながら、インクルーシブな場づくりをしていく、という次の目標が立てられたことも大きな成果となりました。

